

しなみあつて元気

No.50
2014 秋号

平山光子後援会

事務所
大牟田市原山町1-5
0944-53-1661
自宅
大牟田市倉永1651
0944-58-1252
携帯
090-9077-0226
メールアドレス
mitsuko2007@tngbbajp
ホームページ
www.mitsuko-hirayamanet
フェイスブック
www.facebook.com/mitsukohama7

深まる秋の気配

日暮れがすっかり早くなり、涼しい夜風に乗って、虫たちの合唱が聞こえてきます。二階のクーラーも必要なくなりました。あっという間に秋の訪れです。

この夏、各地で続いた豪雨災害、甚大な被害となった広島市始め、被災地の方々には心からお見舞い申し上げます。一日も早い復旧をお祈りいたします。



9月9日 9月定例議会で一般質問
(質問内容の報告は裏面に)
決算特別委員会では委員長を務めました

消費税10%の準備着々
SNS情報(ネット)によると、政府は、「GDP」と「民間企業投資」の4ヶ月の数字を大幅に下方修正した、消費増税判断基準になる7、9月の数字との差を大きくし、回復したとするため、だそうなの！(日刊ゲンダイ記事より)景気回復しない地方も、物価高にあえぐ国民も無視していくこの国の政治・日本の将来は大丈夫？

台所から感じる世の中
キュウリ、レタス、ほうれん草・当然ながら野菜の値段の高いこと！家計はアップ、アップ！
ところが意外と魚は安いのです。(サシマは高い)でも、あまり売れていません。種類はかなり少なくなりました。福島原発事故以来じわじわと・放射能への不安かな？(あくまで個人的見解、基準は私が行く数軒のスーパー)燃料費は上がっているでしょうに、日本の漁業は大丈夫かな？

夏らしくない夏

今年も猛暑・・・と思ったのも束の間、雨ばかりの夏でした。子ども達は、夏休みを十分楽しめなかったことと思います。二学期への充電、大丈夫だった？

～7月 8月の活動から～



8月13日～15日 ようこそ大牟田へ
与論パナウル少年の船、25名をお迎え



7月15日 盂蘭盆
今年も囚人墓地慰霊式典参加



8月23日～25日 与論島へ
教育文化訪問団として訪問、楽しく交流



8月19日 菊池恵楓園訪問、意見交換
保養で訪れている福島子ども・お母さんと





9月議会 一般質問のご報告

一、市長の政治姿勢について

1 核兵器廃絶・平和宣言都市としての平和への思い

来年は、大牟田市の核廃絶平和都市宣言から三〇周年です。数年前から予算がなくなり、「平和の集い」が休止、中学生平和作文コンクール等も行われていません。核兵器廃絶・平和への思いを市民が広く共有するためにも、記念行事等の取り組みを行う必要があるのではないかと尋ねました。また、十周年を記念して建てられている諏訪公園の「秋桜」像が哀れな姿に、補修を要望しました。

2 次代に向けた石炭資源の活用

九州大学大学院「海洋資源開発利用プロジェクト創出研究会」で海底の未採掘石炭からCBM（コールベッドメタン・炭層ガス）を生産する研究が行われ、大牟田地区での実証化に向けた取り組みが期待されています。課題を尋ね、国や県に働きかける等、前向きな検討を要望しました。

二、世界遺産登録推進とまちづくりについて

1 世界遺産登録への期待と市民意識

三池炭鉱の関連施設（大牟田の宮原坑、鉄道敷跡、三池港）が含まれ、八県十一市で取り組んでいる「明治日本の産業革命遺産」がいよいよ来年ユネスコの世界遺産として本登録される期待が高まっています。様々な取り組みが行われていますが、大切と言われている市民の盛り上がり十分とは思えません。現状認識を尋ね、一時的な観光客増や経済効果の期待ではなく、「過去の歴史や遺産を後世に伝えるのはよりよい未来に繋げるため」という価値の共有がもっと必要ではないかと、市長の見解を問いました。

炭鉱の町の発展の歴史は、そこで様々な出来事の中を悲喜交々、生きて働いた人々と家族の歴史です。積極的に語られていない爆発事故や三池争議、囚人労働や外国人強制労働などもきちんと伝えていく事が大事と指摘しました。

2001年から2003年にこのような視点から取り組まれた「こえの博物館」事業があります。当時の担当者や、制作者の熊谷博子監督の熱い思いがDVDとして残されています。今改めて向き合ってみる必要があると思います。

2 「苦難の過去」についての学習

囚人労働や外国人強制労働など、苦難の過去について子ども達の学習の状況と、教職員の研修について尋ねました。殆どきちんと触れられていない副読本や資料の見直しと、若い先生が増える中、フィールドワーク等、研修を充実していくよう要望しました。

三、与論町との教育交流について

大牟田と論会を中心に、深いつながりがある与論町への教育文化訪問団が毎年行われています。そんな中、厳しい状況にあった一人の中学生が、多くの方々の支援を得て与論中へ体験留学、そして与論高校へ進学し、前向きな生き方を取り戻しました。「人は宝」と尊ぶ与論との交流は大牟田にとって願ってもない地域資源ではないかとして、姉妹都市締結など、市として積極的な対応を要望しました。

四、放課後児童健全育成（学童保育）事業の充実について

制度の早めの周知、施設の拡充、民間活用等の検討、近隣市と比べても高い料金の見直し等を求めました。

五、困難を抱える子どもへの支援とSSW（スクールソーシャルワーカー）の配置について

夏の講座で行われたSSWによる「気になる子どもや保護者につながる援助」は大切な視点、このような児童理解の視点に立った研修の現状と、現場からの声でもあるSSW配置の時間増の考えを尋ねました。

※大牟田市のホームページ→大牟田市議会→インターネット
→中継から各議員の質問が録画中継でご覧いただけます